

## 工学院でも

## 『ピンクシャツデー』

『ピンクシャツ大作戦in登別』に合わせ、日本工学院北海道専門学校でも2月24日を『ピンクシャツデー』とし、学生や教職員などがオリジナルのピンクシャツや同系色のファッションにするなど、それぞれが趣向を凝らして参加しました。

令和3年9月に行われた『多様性を認め合うひとつづくりフォーラム』において、市内の高校生が多様性について考えを深める中でスタートした『ピンクシャツ大作戦in登別』。ピンク色のものを身につけることでいじめ反対の意思表示をするカナダ



▲オリジナルのピンクシャツを着た学生

つくろう、つぎの可能性を。

# 日本工学院北海道専門学校



▲展示スペースでの集合写真

発祥の『ピンクシャツデー』に合わせ、市内の学校や登別市役所などで実施されました。本校では、今後も地域とともに積極的な活動に取り組んでいきます。

## オープンキャンパス

日時 4月16日(土)・24日(日)10時

30時〜14時30分

※中止や一部内容を変更する場合がございますので、同校ウェブサイトをご確認の上、参加してください。

お問い合わせ 入学広報室

(☎0120-666-965)



## 今月の新着図書

### 市立図書館

☎04324

## ほん

### さばの缶づめ、宇宙へいく 靖街道を宇宙へつなげた高校生たち

小坂 康之 著、林 公代 著



「宇宙食、つくれるんちゃう？」はじまりは生徒の一言だった。さまざまな困難を乗り越え、生徒たちがつないだ13年間にわたる開発のバトン、それを支えた教員や周囲の大人たち。皆が力を合わせたとき、宇宙への扉が開いた。

◇ボタニカ

朝井 まかて 著

◇竜血の山

岩井 圭也 著

◇六つの村を越えて髭をなびかせる者

西條 奈加 著

## こどものほん

### ぼく

谷川 俊太郎 著、合田 里美 絵



谷川俊太郎が『自死』をテーマにつむぐ絵本。作者は常に「生は自分一人だけのかけがえのない現実、死もそれを断ち切ることは出来ない」「より深く死を見つめることで、より良く生きるための道を探る試みである」と記している。

◇4・5・6さいのなぜなにSDGs

汐見 稔幸 監修

◇生きのびるための「失敗」入門

雨宮 処凛 著

◇女王さまのワードローブ

ジュリア・ゴールドディング 文

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。



## 不用品ダイヤル市

申し込み・問い合わせ

登別消費者協会 (☎0120-8307)

火~金曜日(祝日を除く)10時~15時

※申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です。継続希望の場合は、再度申し込みください。

※無料に限ります。

▶登録できないもの

衣類、食料品、貴金属、美術品などの高価なもの、自動車、バイク、船、傷みの激しいものやあっせん品としてふさわしくないもの

## ゆずります

- ひな人形(7段) ●すり鉢(33型) ●麻雀牌 ●五月人形(ケース付き) ●ポータブル石油ストーブ ●エレクトーン ●キーボード ●白菊幼稚園制服一式(男子、年小児・年長児) ●石油ストーブ(煙突式) ●タップダンス用靴(23.5型)

## ゆずってください

- フットマッサージャー ●米びつ(20型) ●鍋(ガス火用、アルミ、テフロン) ●長いす(肘掛けなし) ●物干し台一式 ●幌別中学校指定かばん ●チャイルドシート ●ジュニアシート ●山スキー一式 ●白内障術後眼鏡(L) ●シングルベッド ●冷凍庫(家庭用) ●雑誌(筆ぐるめ、CD-ROM) ●かんじき(大人用) ●家庭用冷蔵庫(高さ140型以下)